

05・さんざん乳搾りされて遊ばれた後にいちやあま貝合わせセックス

本編04『薬の効果はまだ続いてるけど、庭でゆっくりおしやべり』から数十分後。
とある年の晩秋。十八時すぎ。

場所は主人公とクロエが暮らす家の寝室。

天気は晴れ。室温は二十四度。

主人公とクロエ、ベッドに一緒に入り、服を脱いでいる。

SE1 外の環境音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【0—7秒ほど流してSE2】

【建物の中から、外の音が聞こえる】

【その後、音量が小さくなる】

【ごく小さな音量で流す】

【場面転換するまで流し続ける】

SE2 クロエが主人公の服を脱がす音

【最初から最後まで流す】

● 正面 30センチ

「※5回※ 呼吸する。

熱っぽく息をついて、それからゆっくり興奮気味に呼吸する」

ふううつ……♡

はあ。はあ。はあ。

はああ……♡

【にやにやと嬉しそうに。

主人公の乳首から、わずかではあるが、また母乳がこぼれてきているので】

あー……。

おっぱい。まだ、ちょっと、出てきちゃってるね。

ふふ。興奮すると出てきちゃうのかな。

でも、きつと今日あたりが最後だろうね」

クロエ、主人公の胸に顔を近づけて、乳首を吸う。

●正面 0センチ 下30センチ

「軽く舐める。」

既にこぼれているものを舐めとる」

ぺろおっ……♡♡ ちゅっ♡♡

【少し残念そうに】

ちよつと名残惜しいね」

〈主人公〉

「もう、他人事だからって……♡」

●正面 0センチ 下30センチ

「にやにやと嬉しそうに。」

甘くからかう。

主人公もこの現象を楽しんでいたと、クロエは確信してるので」

えー？ そんな事言って。

あなたも結構楽しんだと思うけど？

あたしに絞られる度気持ちよくなって、布団びしょびしょにしてたじゃん……♡」

〈主人公〉

「あれは……」

●正面 0センチ 下30センチ

「にやにやと嬉しそうに。

甘くからかう。

主人公もこの現象を楽しんでいたと、クロエは確信してるので
「あれは違うの？」

〈主人公〉

「そうよ、違うわ。違うに……決まってるでしょ……」

●正面 0センチ 下30センチ

「にやにやと嬉しそうに。

甘くからかう。

主人公もこの現象を楽しんでいたと、クロエは確信しているの。

※あまり意地悪くなりすぎないようにお願いします※」

そうなの？ 絶対嘘でしょ♥

『ほんとは一杯気持ちよくなってきました。感じてました♥』
って認めないと、してあげないよ？」

〈主人公〉

「……っ♥」

●正面 0センチ 下30センチ

「優しくからかう。

主人公もこの現象を楽しんでいたと、クロエは確信しているので。
胸を愛撫しながら話す。

※先ほどよりも優しくなっっていくイメージで※」

ははっ♪ うんうん♥ そうだよね♥

あなたは、こうやって。

おっぱい下から持ち上げるみたいに持たれて。

親指と人差し指の間で挟んで、ぐりぐりされながら……。

びゅーってするのが好きになっちゃったんだもんね♥」

〈主人公〉

「ああああっ……♡」

SE3 主人公の乳首から母乳がこぼれる音

【最初から最後まで流す】

主人公の乳首から母乳がこぼれ、クロエの顔にかかる。
クロエ、少し離れる代わりに顔を主人公と同じ高さに戻す。

● 正面 30センチ

「優しく、少し興奮気味に。」

あまりにも扇情的な光景なので】

あー……凄い。

ちよつと顔、かかっちゃった。

まだ、結構出るね……♡

【優しく、でも少し意地悪に。

正面から主人公の乳首を愛撫し、母乳を飛ばして楽しんでいる】

ほら……ほら……♡ ほら……♡

ぴゅーっ……♡ ぴゅー……♡ ぴゅー……♡

ふふ、凄い♥

ほら、その壁まで飛んじやいそうだね……♥」

〈主人公〉

「あ♥ あ♥ あああーっ……♥」

●正面 30センチ

「優しく、少し興奮気味に。

あまりにも扇情的な光景なので」

ね♥♥

これされると、あなたは乳首に丁度よく力がかかって感じちゃうし。

だからミルク溢れてくる自分のおっぱい見て、興奮しちゃうんだよね♥

変態だなく……♥

そんな悪い乳首は、こうやってぐにぐにしておげなくちゃね。

ぐにぐに、ぐにぐに、ぐにぐに♥」

〈主人公〉

「っうう……♥」

SE 4 主人公の乳首から母乳がこぼれる音 2

【最初から最後まで流す】

● 正面 30センチ

「優しく、うっとり。」

静かにとても興奮している感じで

ああ……気持ちいいんだね♡

ねー……♡ 気持ちいいよね。ねー♡

ぐにぐに、ぐにぐに、ぐにぐに♡

……ふふ。

こっちは吸ってあげるからね……♡」

クロエ、再び主人公の胸に顔を近づけて、乳首を吸う。

● 正面 0センチ 下30センチ

「※しばらく※ 乳首を吸う。」

最初は丁寧に優しく、段々大胆に音を立てて吸うようになる」

あんむ……んっふ……ちゅ♡
ちゅっ♡ ちゅっ♡ ちゅ♡
ちゅふふっ……ちゅるっ♡

【優しく、うっとり。】

静かにとても興奮している感じで
はー……凄い。溢れてくる……♡

【※しばらく※ 乳首を吸う。】

最初は丁寧に優しく、段々大胆に音を立てて吸うようになる】

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ れるれるる……ちゅふっ♡
じゅるるるっ♡ じゅるうっ♡ じゅるるるるっ♡
ちゅるっ、ちゅるっ、ちゅるっ♡

【優しく、うっとり。】

静かにとても興奮している感じで。

静かに興奮しながら、過去を振り返り、それによつてますます興奮していく】
はああ……告白するってすごいね♡

春までは、あなたの身体なんて。

一生触るのも見るのも無理って思ってたのに。

今は、あなたのお乳に、こんな事しちゃってる……♡

【※しばらく※ 乳首を吸う。

ぴちやぴちや音を立てながら、音で主人公を興奮させる事を意識して吸う」
んっく。ちゅぱあっ……ふちゅっ ♡

れるれる……れるれる……れるれる……れるおっ ♡
はーふう、はーふう、はーふう、はーふう…… ♡

【※息づかいのみ※ で表現する。

うっとりと、興奮気味にため息をつく】

はああっ…… ♡

【優しいが、少し切なげに。

トラツク04同様、過去を振り返り、それによつてますます興奮していく】

あの頃ね……『あなたがどうかあたしになりますように』って、毎日お祈りしてたんだよ。

でもそのうち、それだけじゃダメだよって、神様が言ってる気がしたの。

何もしなかったら、あたしたちはずっと友達のまま。

変えたかったら、ちゃんと行動しなくちゃって……。

【ぽつりと、実感を込めて】

して、よかったな。

【優しく微笑む】

ふふ……♡

【※しばらく※ 乳首を吸う。

ぴちやぴちや音を立てながら、音で主人公を興奮させる事を意識して吸う】

あんむう……ちゅふっ♡ ちゅぱっ♡ れろお……♡

ぺろぺろ、ぺろぺろ、ぺろぺろ、れろおっ……♡

ちゅふふふっ、ちゅふうっ♡

【優しく、うっとり】

全部、大好きだよ。あなたの事、全部」

クロエ、『正面0センチ』に移動してキスする。

●正面 0センチ

「【※3回※ キスする。

軽く触れるだけが甘々なキス】

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡」

SE5 クロエがベッドの上で動く音

【最初から最後まで流す】

クロエ、『左 0センチ』に移動して『無声音ささやき』をする。

●左 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく
「そつとささやく。」

甘くそつと、でも少し悪戯っぽくささやく」
仰向けになって……全部してあげる」

SE6 クロエが主人公をベッドの上に押し倒す音
【最初から最後まで流す】

主人公、裸でクロエに押し倒され、向き合う形になる。
少し距離が離れ、また声の位置が上になる。

●正面 50センチ 上 50センチ
「【※息づかいのみ※】で表現する。

うっとりど興奮気味に息をつく」

んっふ……♡ はー……♡

ふふ。

【優しくうつとりと、少し興奮気味に】
顔とろとろ。かわいいね。

なでなでしたくなっちゃう……♡

【少し間をあけてから。】

一呼吸おいてから行動を始める感じで
足、持ちちゃうね」

SE7 クロエがベッドの上で動く音2

【最初から最後まで流す】

クロエ、主人公の片足を持ちあげて、自分の足と交差させる形で股間同士を密着させる。

●正面 50センチ 上 50センチ

「【※息づかいのみ※】で表現する。

うつとりと興奮気味に息をつく」

んっ……♡

ふー……♡

〈主人公〉

「あああっ……♡」

SE8 主人公とクロエの股間の水音

【最初から最後まで流す】

●正面 50センチ 上 50センチ

「感嘆の『ああ』。うっとり嬉しそうに。

優しく、でも少し興奮気味に、主人公の股間がいか濡れているか教える」

ああ……♡

「うっとり、ゆっくりめに。

一行ごとに少しあくイメージで」

こっちもぐちやぐちやに濡れてるね。

よっぽど気持ちよかったんだね……♡

もっと、気持ちよくしてあげるからね。

……おまんこ合わせ、しよーね……♡」

SE9 主人公とクロエの股間の水音2

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

●正面 50センチ 上 50センチ

「※12回※ 呼吸する。

うっとり興奮気味に息をついたあと、だんだん荒くなっていく。
とても気持ちよさそうな呼吸。

貝合わせが始まったので」

ふううう……♡

はー、はー、はー。

んっ……。ふー……。♡

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ……。

【低めの声でうっとり。

ものすごく気持ちよさそうに】

あー……。♡ 気持ちいい…♡

【小さく喘ぐ】

……あ。あ、あ、あ。

【※息づかいのみ※ で表現する。

とてもゆっくりとうつとりと、興奮気味に息をつく】

ふーっ……♡

【低めの声でうつとりと。

ものすごく気持ちよさそうに】

あー……♡ あああ、気持ちいい……♡

気持ちいいねえ……♡

【高い声で小さく喘ぐ。

とても気持ちいいのいい所に当たったので】

あーっ……♡

【※8回※ 呼吸する。

小さく喘いだ後、少し早く、だんだん荒い呼吸になっていく。

とても気持ちよさそうな呼吸】

んっ。ふー、ふー、ふー。

ふーっ、ふーっ、ふーっ、ふーっ……♡

【高く、小さく喘ぐ】

っあ♡

【低めの声でうっとり喘ぐ。

ものすごく気持ちよさそうに】

ああ……♡ あ♡ あ♡ あ♡

あー……♡ あー……♡ あー……♡

【低めの声でうっとり。

ものすごく気持ちよさそうに】

っこれ気持ちいいね♡ あたしも気持ちいい……」

クロエ、『正面0センチ』に移動してキスする。

股間は密着させたまま、主人公に正面から覆いかぶさってキスする。

●正面 0センチ

「【※3回※】キスする。

軽く触れるだけが甘々なキス」

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

クロエ、少し離れる。

●正面
15センチ

「低めの声で小さく喘ぐ。

ここから、濁音喘ぎが混じるようになる。

ものすごく気持ちよさそうに】

あ。
あ。
//
あ。

“あ。
あ。
ああ
つ
……
♡

【※※】6回※※呼吸する。

小さく喘いだ後、少し早く、だんだん荒い呼吸になっていく。

とても気持ちよさそうな呼吸】

ん
ん
う
.
.
.
.
.
.

♡

ふ、ふ、ふ。

ふーっ、ふーっ、ふーっ……♡

【※大きく息を吐いてから※】
うつとりと。

ものすごく気持ちよさそうに】

……はあぁ……。すっごい……♡

これからずっと……ずっと一杯しようね。

愛してる……好き。大好きだよ……♡

【※8回※】呼吸する。

小さく喘いだ後、少し早く、だんだん荒い呼吸になっていく。
とても気持ちよさそうな呼吸】

んっ♡

はあ、はあ、はあ、はあ。

はー。はー、はー、はーっ……♡

【高めの声で小さく喘ぐ。

一回一回、びくっ、びくっと喘ぐ感じで】

あ。あ。〃あ♡

〃あー……♡

〃あ♡

〃ああっ……♡

【※12回※ 呼吸する。

かなり荒い、とても気持ちよさそうな呼吸】

はーっすう、はーっすう、はーっすう……♡

はーふう、はーふう、はーふうっ♡

【※6回※ 呼吸する。

何とか呼吸を整えようとしている感じで】

はー、はー、はー。

はー、はー、はー……っ ♥

【※12回※ 呼吸する。

高く小さく喘いだ後、また早く、だんだん荒い呼吸になっていく。

とても気持ちよさそうな呼吸】

んっ ♥

はーっすう、はーっすう、はーすう ♥

はーっすう、はーっすう、はーすう ♥

【高めの声でうっとりと。

ものすごく気持ちよさそうに。

※ここから、そろそろ絶頂が近づいている事がわかりやすくなっていく感じで※】

あー…… ♥ あっ。あ。

いい……っ ♥

気持ちいい…… ♥

いいよお…… ♥

〃 ああっ…… ♥

【※12回※ 呼吸する。

かなり荒い、とても気持ちよさそうな呼吸】

はーふうっ、はーふうっ、はーふうっ…… ♥

はーふう、はーふう、はーふうっ ♡

【低めの声でうっとり喘ぐ。

ものすごく気持ちよさそうに】

うあ。

あ。 ♡ あ ♡ ああ ♡

あー…… ♡ あー……っ ♡ あー……っ ♡

【※6回※ 呼吸する。

何とか呼吸を整えようとしている感じで】

はーふう…… ♡ はーふう…… ♡ はーふう…… ♡

〈主人公〉

「クロエ……もうわたし…… ♡」

● 正面 15センチ

「【低めの声で嬉しそうに。

お互いに絶頂が近いので】

ああ…… ♡

【少しだけ早口で。

喘ぎ交じりに話す。

そろそろ絶頂が近づいている事がわかりやすくなっている感じで
イきそう……？ あたしも……♡

そろそろ……やばいかも。

あ……っ♡ いいよ……一緒にイこ♡

【低めの声でうっとりと喘ぐ。

ものすごく気持ちよさそうに】

あ、あ、あ。

あっ、あっ。あっ♡

あー……♡ あー……っ♡ あー……。

あ♡ あ♡ あー……っ♡

【※12回※ 呼吸する。

かなり荒い、とても気持ちよさそうな呼吸】

はーっすう、はーっすう、はーっすう……♡

はーふう、はーふう、はーふうっ♡

【低めの声で、ゆっくりめに、気持ちよさそうに喘ぐ。

そろそろ絶頂が近づいている事がわかりやすくなっている感じで】

んっ……♡ んっ♡

んっ……んう……♡
んんんう、んっ♡ あー……♡ イ♡
ああ……イク。イクっ……♡」

クロエ、『正面0センチ』に移動してキスする。

股間は密着させたまま、主人公に正面から覆いかぶさってキスする。

● 正面 0センチ

「※しばらく※ キスする。

軽く触れるだけのキスから、濃厚なキスになっていく」

ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅっ♡

んんんう……♡ んっ♡

んれろれろっ、ちゅ♡

【※キスで口をふさがれた状態で※

喘ぎ交じりに。キスしたまま絶頂が近づくのがわかる感じで

んんんんう。

んんんうっ……♡ ん♡ んんんんう……♡

んんっ……♡

【※ここで絶頂する※】

絶頂した事が比較的わかりやすい感じで、特に気持ちよさそうに、長く喘ぐ
んんんううっ……♡」

SE10 主人公とクロエがベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

●正面 30センチ

「【※9回※】呼吸する。

苦しそうな呼吸から、だんだんゆっくりになっていく】

はー、はー、はー。

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあっ……。

【苦しそうに、でも、うっとりと。

ものすごく気持ちよかった事を述べる】

はー……凄かつ、た……。

気持ちよかったね……♡」

クロエ、『正面0センチ』に移動してキスする。

股間は密着させたまま、主人公に正面から覆いかぶさってキスする。

● 正面 0センチ

「※しばらく※ キスする。

軽く触れるだけのキスから、濃厚なキスになっていく」

ちゅ ♡

ちゅ ♡ ちゅうつ…… ♡

ちゅふっ ♡ ちゅ、ちゅ、ちゅ ♡

「うっとり優しく。囁くように」

このまま……手繋いで休もつか。

大好き……」

クロエ『左0センチ』に移動して『無声音ささやき』をする。

● 正面 0センチ 『無声音』ささやき ※マークのセリフまでささやく

「『そっと優しくささやく』

大好き……」※

ここでフェードアウトして終了。